誓約書兼同意書

令和　　年　　月　　日

広島市長

申請者　　住　所

名　称

氏名（代表者名）

令和　　年度圏域特産品の商品改良等事業費補助金の申請を行うに当たって、また、補助事業の実施期間内及び完了後においては、下記の事項について誓約します。

　この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることになっても、異議は一切申し立てません。

記

１　私（当法人）は次のいずれにも該当しません。

(1)　暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成３年法律第７７号）第２条第２号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）

(2)　暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第２条第６号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）

(3)　暴力団への利益供与を行ったことなどにより、広島県暴力団排除条例（平成２２年広島県条例第３７号）第１９条第３項の規定による公表が現に行われているもの

(4)　暴力団若しくは暴力団員と密接な関係を有するもの

　(5)　公序良俗に反する営業や特定の宗教・政治団体と関わる活動を行っているもの

２　申請事業は次のいずれにも該当しません。

(1)　 国・県・広島広域都市圏を構成する市町のいずれか、国・県・広島広域都市圏を構成する市町のいずれかが資本金、基本金若しくはその他これらに準ずるものを出資した法人又は国・県・広島広域都市圏を構成する市町のいずれかが補助を行った法人格を有さない団体から補助金、負担金又はこれらに準ずるものを受けて実施する事業と重複する事業

(2)　特定の団体、政党、宗教に利益を得させる又は損害を与える事業

(3)　関係法令に抵触する内容が含まれる事業

３　上記の誓約事項に反した場合若しくは誓約が虚偽であった場合、圏域特産品の商品改良等事業費補助金交付要綱第１１条の規定により、補助金の交付決定の取消しの措置を受けた時は、これに異議なく応じます。

４　この誓約について、関係する官公庁へ照会が行われる場合があることに同意します。

以上

　　　　　　　　　　代表者署名　（自署）

※広島市では、「広島市暴力団排除条例」に基づき、暴力団の活動を助長し、又は暴力団を利するおそれのある事業から暴力団等を排除するため、補助金申請者に暴力団等でない旨の誓約をお願いしています。